



## 災害のない安全で安心な1年に 令和7年糸満市消防本部消防出初め式

今年1年の安全を願うとともに市民の防火・防災意識を高めるため、令和7年糸満市消防本部消防出初め式が1月7日(火)、同消防本部で開かれ、消防職員や消防団員らが参加しました。当日は、幼年消防クラブ演舞や女性防火クラブによるカレーの炊き出し訓練、消防職員・消防団員による、はしご車を活用した救助訓練と放水訓練が行われ、迫力ある訓練に見物客から拍手が送られました。



## 新春路を走る! 第54回糸満市新春マラソン

西崎陸上競技場を発着点に、第54回糸満市新春マラソン大会が1月12日(日)に開催されました。同大会は、健全な心身の育成やスポーツ振興などを目的に開催されています。当日は、寒さが厳しい天候ながら中学校男子の部を皮切りに、小学校の部や壮年の部など10種目に総勢471人のランナーが参加し、家族や仲間、沿道の観客の応援が力となり、多くのランナーが笑顔でゴールしました。



## 書を通じて地域貢献 令和6年度沖縄県文化協会賞を受賞

令和6年12月12日(木)に行われた令和6年度沖縄県文化協会賞授賞式で、上原安子さんが功労賞、大城喜美子さんが奨励賞を受賞し、その喜びを報告するため1月17日(金)に市役所を訪れました。上原さんと大城さんは、さまざまな書道展で功績を残すほか、現在は自身の書道教室の傍ら、市内小学校の書道講師ボランティアや書き初め指導などの学校ボランティアも行われています。



## 糸満の魅力盛りだくさん! 糸満フェア超2025開催!

市内事業所や地場産品をPRし、地域経済の循環を図ることを目的に、糸満の食材を使った料理やスイーツなど、糸満自慢がたくさん詰まった糸満フェアが1月25日(土)から26日(日)にかけて、糸満海のふるさと公園で開催されました。期間中は市内事業所の物販や飲食物の販売、姉妹・交流都市の物販のほか、ステージイベントではマグロ1本とヤギ1頭が当たる大抽選会が行われました。

## 多世代が集まる居場所へ 子ども食堂「高嶺しんか〜家」スタート

12月25日(水)、大里公民館で新たに子ども食堂「高嶺しんか〜家」がスタートしました。「高嶺しんか〜家」は、地域の居場所づくりをしたいとの思いから、発起人の大嶺沙耶香さんが中心となり、糸満市社会福祉協議会や民生委員、大里自治会、区民らの協力を得て、高嶺小中学校区の児童生徒を対象に始めました。初回となったこの日は、市役所や社会福祉協議会、地域の農家や市内企業から食材をいただき、民生委員や老人会が調理をし、カレーライスを提供しました。当日は、小中学校が終業式で給食がなかったこともあり、用意していた150食が、開設から1時間足らずで提供終了となりました。大嶺さんは「開設まで大変でしたが、多くの子どもたちが集まってくれて、ただただ感動しています。今後も地域の協力を得ながら定期的に開催して、居場所づくりをしていきたいです」と笑顔で喜びを語りました。カレーライスを食べた金城泰正さんは「チラシを見て、友達が行くって聞いたから一緒に来ました。カレーは辛くなくておいしかったです。またあったら参加したいです」と話しました。



## たいまつで平和を願う 第47回摩文仁・火と鐘のまつり

沖縄戦終焉の地から戦没者を慰霊し平和を願う、第47回摩文仁・火と鐘のまつりが12月31日(火)に沖縄平和祈念堂で行われました。こども空手演武を皮切りに、沖縄戦の映像視聴や平和祈念堂金管アンサンブルの演奏がありました。全員による黙祷がささげられた後、一人一人がたいまつを掲げて広場で円を描き、年明けを告げるとともに、大聖火へ点火すると大きな火が生まれました。



## 市民と新年の門出を祝う 令和7年新年祝賀会

令和7年新年祝賀会が1月6日(月)、シャボン玉石けん くくる糸満で開かれました。式典で当銘市長は「市民目線・対話重視の市政運営に取り組んでいきます」と新年の決意を述べました。当日は、叙勲受章者7人も出席し、記念品が贈呈され、式典終了後は糸満市文化協会による「かぎやで風」で懇談の部がスタート。出席者らは和やかな雰囲気、名刺交換やあいさつを交わしました。

